

守弘仁志先生の経歴・研究業績

経歴

- 1956年2月 4日生まれ
1974年3月 都立豊多摩高校卒業
1975年4月 中央大学文学部哲学科社会学専攻入学
1979年3月 中央大学文学部哲学科社会学専攻卒業
1979年4月 中央大学大学院文学研究科社会学専攻博士前期課程入学
1982年3月 中央大学大学院文学研究科社会学専攻博士前期課程修了
1983年4月 中央大学大学院文学研究科社会学専攻博士後期課程入学
1988年3月 中央大学大学院文学研究科社会学専攻博士後期課程単位取得退学
1990年4月 熊本短期大学（現熊本学園大学）社会科専任講師（広報論）
1994年4月 熊本学園大学社会福祉学部専任講師（マスコミュニケーション論）
1995年10月 熊本学園大学社会福祉学部助教授
2005年1月 熊本学園大学社会福祉学部教授
2005年4月 熊本学園大学水俣学研究センター研究員
2010年1月 熊本学園大学付属社会福祉研究所長（至2014年3月）
2015年4月 熊本学園大学付属社会福祉研究所長（至2018年3月）
2019年9月 18日 永眠（享年63）

専門分野

社会情報学、マスコミュニケーション論

学部・大学院教育担当科目

情報メディア論、社会調査方法論、生活と福祉情報、社会学概論、卒業演習
ソーシャルワーク・リサーチ専門研究・演習、社会福祉学・福祉環境学方法論特殊研究
福祉環境学フィールドワーク I

学会

日本社会学会会員、日本新聞学会会員、日本社会情報学会会員

研究業績

研究論文

- 「水俣病公式確認60年アンケート調査結果総論」（共著）『水俣学研究』6、2019年、pp.19-38。
- 「熊本地震における被災地住民の携帯電話（スマートフォン）、放送などの情報利活用（2017年度公開研究会記録）」（共著）『社会福祉研究所報』46号、2018年、pp.69-70。
- 「ワークショップ1 若者とメディアの50年：語りの分析からみえてくるもの」『マス・コミュニケーション研究』92、2018年、pp.203-204。
- 「社会福祉研究所創立50周年記念シンポジウム：若者の現状と未来に向けて」（共著）『社会福祉研究所報』社会福祉研究所創立50周年記念号、45号、2017年、pp.167-193。
- 「社会福祉研究所創立50周年の歩み」『社会福祉研究所報』社会福祉研究所創立50周年記念号、45号、2017年、pp.2-5。
- 「沖縄の情報化政策：離島における情報格差是正政策を中心に(2)」『社会関係研究』15(1)、2010年、pp.65-86。
- 「沖縄の情報化政策：離島における情報格差是正政策を中心に(1)」『社会関係研究』14(1)、2009年、pp.67-85。
- 「沖縄県南大東村、北大東村の地上波テレビ導入にともなう住民の情報意識の変化(1) 地上波テレビ導入政策の展開と導入前調査の住民の情報意識・メディア行動」『社会関係研究』10(1)、2004年、pp.1-23。
- 「沖縄における放送制度 研究ノート — 6つのポイント」『社会福祉研究所報』31、2003年、pp.151-161。
- 「福祉情報ネットワークによる地域支援 — 熊本バリアフリーマップ作成から」『社会関係研究』8(1)、2001年、pp.83-108。
- 「CATVのマルチメディア利用の可能性 — 九州・大分地区を中心とした事例から」『社会関係研究』4(1)、1998年、pp.1-28。
- 「大東地区における地上波放送開始に伴う情報化の現状：テレビ地上波導入前と導入後の調査比較から」（共著）『大妻女子大学紀要 社会情報学研究』7、1998年、pp.99-114。
- 「若者のメディア行動とコミュニケーションの多様化 — 『若者のライフスタイルとメディア行動に関する調査』に見る男女差」『社会関係研究』2(1)、1996年、pp.21-65。
- 「若者のメディア行動とコミュニケーションの多様化 — 『若者のライフスタイルとメディア行動に関する調査』から」（共著）『社会情報学研究』1、1995年、pp.161-177。
- 「マス・コミュニケーション研究における情報認知の問題 — 『議題設定機能』と『共通知識論』から」『熊本学園大学論集「総合科学」』1、1994年、pp.163-185。
- 「情報化社会の社会心理・情報格差論と能動的受け手論から」『熊本短大論集』44、1994年、pp.55-76。
- 「若者の映像観とコミュニケーション観：ビデオ調査をもとに」『熊本短大論集』42(1/2)、1991年、pp.152-178。

研究発表

- 「水俣病公式確認60年アンケート調査結果から」第13回水俣病事件研究交流集会、水俣市公民館、2018年1月。
- 「今なお解決をみない水俣病事件を次世代に『伝える』ネットワーク形成」(井上、花田、守弘共同発表) 社会情報学会九州・沖縄支部2016年度研究会、九州大学経済学部、2017年2月。
- 「情報通信技術による地域の問題解決を考える」日本社会情報学会研究会、対馬市交流センター、2009年11月。
- 「地域社会と地元大学との情報連携」日本社会情報学会研究会、山江村農村環境改善センター、2008年10月。
- 「御所浦(横浦島)調査 第一報」第2回水俣病事件研究交流集会、水俣市公民館、2007年1月。
- 「マス・コミュニケーション理論における効果概念について～諸理論の比較を中心として～」第60回日本社会学会大会、日本大学、1987年10月。
- 「ビデオをめぐる若者のメディア意識」(岩佐淳一との共同発表) 日本新聞学会1987年度秋季大会、中央大学、1987年9月。
- 「マス・コミュニケーションの理論としての疑似環境論～系譜と適用～」第59回日本社会学会大会、山口大学、1986年11月。
- 「戦後日本の放送におけるサービス・エリア」日本新聞学会春季研究発表会、同志社大学、1986年5月。
- 「地域コミュニケーション研究の変遷～メディア観を中心に～」第58回日本社会学会大会、横浜市立大学、1985年11月。
- 「原子力開発における地方紙の対応～東奥日報を例として～」日本新聞学会秋季研究発表会、日本大学、1984年11月。

著書

- 「調査概要」熊本学園大学水俣学研究センター編『水俣病公式確認60年アンケート調査最終報告書』2019年、pp.3-19。
- 「島しょ社会と情報化－沖縄県大東島の事例から」前納弘武・岩佐淳一・内田康人編著『変わりゆくコミュニケーション 薄れゆくコミュニティ：メディアと情報化の現在』、ミネルヴァ書房、2012年、pp.185-205。
- 松下育夫、守弘仁志編著『社会理論と社会システム』学文社、2012年。
- 「マスコミュニケーション」早川洋行編著『よくわかる社会学史』ミネルヴァ書房、2011年、pp.114-129。
- 「福井県のケーブルテレビ局をとりまく状況と要因」林茂樹・浅岡隆裕編著『ネットワーク化・地域情報化とローカル・メディア』ハーベスト社、2009年。
- 「地域社会調査の方法と実践」原田正純・花田昌宣編著『水俣学講義 第4集』日本評論社、2008年、pp.195-214。

「マクルーハン」「プーアスティン」土井文博・萩原修子・嵯峨一郎編『はじめて学ぶ社会学』
ミネルヴァ書房、2007年。

「生活者の福祉分野における情報化」林茂樹編著『情報化と社会心理』中央大学出版部、
2002年。

『情報化の中の「私」(社会と情報ライブラリ)』福村出版、1996年。